

第 43 回鹿児島県高等学校空手道競技大会 (全国・九州大会予選) 要項

- 1 主 催 鹿児島県高等学校体育連盟・鹿児島県教育委員会
- 2 後 援 公益財団法人鹿児島県体育協会
- 3 主 管 鹿児島県高等学校体育連盟空手道競技専門部
- 4 期 日 2019年5月29日(水)・5月30日(木) 8時45分集合 9時15分開始
- 5 会 場 鹿児島県総合体育センター体育館
- 6 競 技 規 定 公益財団法人全日本空手道連盟競技規定並びに審判規定
全国高等学校体育連盟空手道専門部規定
- 7 競 技 方 法 第1日目 個人形(1次予選・2次予選・準決勝) 団体組手
第2日目 個人形(決勝) 個人組手
- 8 引率・監督 (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。
(2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
但し、(2)について全国高等学校体育連盟各競技専門部における別途規定が定められている場合は、その規定に従うことを原則とする。

【参考】

引率が認められる職員	教頭 教諭 助教諭 養護教諭 養護助教諭 講師(常勤) 実習助手(以下の条件を全て満たし、校長が承認した者)
条 件	1 正規職員であること 2 当該部活動の指導を常時行っていること 3 教員免許状の普通免許状を有していること又は免許法認定講習等で生徒指導に関する単位を1単位以上取得し、かつ6年以上の勤務経験があること

- 9 参 加 資 格 (1) 本年度県高体連加盟校在学学生であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
(2) 年齢は平成12(2000)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(3) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。(「合同チーム参加届け」を提出すること。)
(5) 転校後6か月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。(「大会出場許可申請書」を提出すること。)
(6) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の参加申込書を必要とする。
(7) その他の事項については、全国大会要項に準じる。
(8) 参加資格の特例による学校の参加については、鹿児島県高等学校総合体育大会開催基準要項のとおりとする。
(9) 外国人留学生の参加については、団体は正選手の過半数を超えない範囲で出場を認める。個人は参加制限しない。
- 10 参 加 申 込 参加申込みに際しては、「鹿児島県高等学技総合体育大会・鹿児島県高等学校新人体育大会における個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で、申し込むものとする。

- (1) 申込方法
当該学校長の責任において、所定の様式(参加申込書)により、2部作成(1部は写しでも可)し、5月8日(水)午後4時30分までに必着とする。
- (2) 申込場所
鹿児島市谷山中央八丁目4番1号(〒891-0141)
県立鹿児島南高等学校内 県高体連事務局宛 (Tel. 099-268-8391)
- (3) 電子データ送信アドレス
選手名簿のデータ(エクセルファイル)を5月8日(水)までに下記アドレスに送信する。
jogasaki-naoyuki@edu.pref.kagoshima.jp(専門委員長 城ヶ崎尚之)
- (4) 参加申込書提出後に出場を辞退しなければならなくなった場合(学校単位)は、速やかに競技専門委員長及び県高体連事務局に連絡し、「大会出場辞退届」を県高体連事務局に提出する。

11 表 彰 団体組手3位、個人組手5位・個人形3位まで表彰する。

12 監督会議 (1) 日 時 5月29日(水) 8時45分～

(2) 会 場 鹿児島県総合体育センター体育館

13 組 合 せ 5月10日(金)午前9時から甲南高校(予定)において専門部で組合せを行う。各チームの監督は組合せ会に出席してもよい。

組み合わせ結果は、県高体連事務局ホームページに掲載する。

14 組 手 競 技 (1) 団体組手について

① 男子5名(補欠2名)、女子5名(補欠2名)とする。

② 上位4チームで決勝リーグを行う。1回戦より決勝リーグまで「8ポイント差」とする。

③ 出場校が10校未満の場合はリンクトーナメント制を取り入れることもある。

④ 登録されたメンバーの中で、競技毎のオーダーの交替が出来る。

⑤ 規定の5人に満たない場合でも過半数(3人)の選手で成立する。但し、オーダー順は先鋒から順につめて、選手4人の場合は大将を、選手3人の場合は副将・大将を欠員とする。

⑥ 組手競技で一度負傷によって棄権した選手は、当日以後の組手競技には出場できない。

(2) 個人組手について

① 1校4名以内とし、補欠は認めない。

② 1回戦より決勝リーグまで「8ポイント差」とする。

(3) 安全具(高体連指定)の着用

女子……ニューメンフォー・挙サポーター・ボディプロテクター・シンガード・インステップガードの5点セット

男子……女子の安全具にセーフティカップを加えた6点セット

(4) 安全具の不備な選手は参加を認めない。

15 形 競 技 (1) 1校2名以内とし、個人戦の補欠は認めない。

(2) 個人形の1次予選、2次予選は得点制とし、第一指定形の中から選ぶ。準決勝も得点制とし、第二指定形の中から選ぶ。決勝はフラッグ制とし、得意形の中から選ぶ。

(3) 1次、2次予選で同点があった場合は、再試合をせずに次へ進出させる。準決勝のうち1位から4位で同点があった場合は、再試合を行う。その際の形は、準決勝で演武しなかった第一、第二指定形とする。

16 そ の 他 (1) 全国大会・九州大会の出場について

① 全国高等学校総合体育大会……男女共、団体組手1位、個人組手2位、個人形2位まで。

② 全九州高等学校体育大会……男女共、団体組手2位、個人組手5位(ベスト8)、

個人形3位(ベスト4)まで。

※ 棄権に伴う繰上げ出場は認めない。

- (2) 競技者の道衣は純白とし、左胸に校名、左肩に県名を必ずつける。その際の校名、県名は黒、紺、スクールカラーとする。道着に入れる氏名は黒色のみとする。
- (3) 決められた場所(胸の学校名、袖の県名、上着・下着の名前)以外に刺繍することは禁止とする。名前を入れる場合は、自分の姓(名字)またはフルネームが望ましい。
- (4) 上着は必ず脇に紐のあるものを着用する(胸紐は付けてはいけません)。袖の長さは手首までとし、前腕の中ほどより短くしてはならない。上着の袖をまくり上げてはならない。
ズボンの長さは、踝がかくれてはならない。少なくとも下肢の3分の2を覆うほどの長さとし、裾をまくり上げてはならない。
また、空手道衣の袖の空き、ズボンの空きは8~20cmでなければならない。
- (5) 申込書不備の学校、個人については申込みを受け付けない。
- (6) 選手の頭髪等
染毛、パーマ、極端な長髪は禁止する。(女子はヘアピン、リボンを禁止する。)
- (7) 健康管理
 - ① 競技中の傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
 - ② 故障者については、監督の責任で出場を取り止めること。
 - ③ 参加者は健康保険証を持参すること。
- (8) 眼鏡での出場は認めない。ただし、コンタクトレンズ(ソフト)は認める。
- (9) 会場や観覧席を汚さないよう各校とも責任をもって処理すること。